

## 築上町ゼロカーボンシティ宣言 ～2050年二酸化炭素排出ゼロをめざして～

近年、世界各地で発生している異常気象は、二酸化炭素の増加による地球温暖化が主な原因とされています。気候変動の発生に、もはや疑いの余地はなく、「気候危機」として、これまでに経験したことのない豪雨や台風等による被害も発生し、動植物の生態系への悪影響が危惧されています。

2015年に日本政府を含む全世界の国々により合意されたパリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して、 $2^{\circ}\text{C}$ より充分低く抑え、 $1.5^{\circ}\text{C}$ に抑える努力を追求することとしています。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇幅を $1.5^{\circ}\text{C}$ に抑えるためには、2050年までに、 $\text{CO}_2$ （二酸化炭素）の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

”自然と歴史・文化を育む”一心と体の健康を求めた『豊かな生活の場』づくりを将来像として定める築上町においても、私たち一人ひとりが強い危機感を持ち、町が誇る豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくとともに、将来にわたって脱炭素や循環型社会の実現に向けた取組みを強化していく必要があります。

よって、築上町は、ここに「2050年までに $\text{CO}_2$ （二酸化炭素）実質排出ゼロ」をめざし、町民、事業者とともに、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組みを推進することを宣言します。

令和4年10月1日

築上町長

新川久三